



会長の挨拶

約束した「新しいノーマル」はどこ？

連絡: president@jltasa.asn.au

コロナ禍で、新年度が始まる時、先生方は新しい希望や期待で「今年はきっと違うだろう」と思っているかもしれませんね。「最悪はもうないだろう」とか。毎年、チャレンジに打ち勝っても、常に教育や教師の仕事には新しく他のチャレンジがやってきます。しかし、パンデミックは確かに大変ですが、生徒が飽きないように、デジタルでの新しい教え方を生み出すと言う新しいチャンスにも恵まれました。だから、コロナ禍でもシルバーライニングがありますね。

2022年はJLTASAの年次会議を復活させる予定ですので、先生方にはワークショップでのプレゼンテーションをお願いしたいと思っています。教えることや知識をシェアすることは本当に大切なことですよ。特に、HA/LTを申し込みたい先生はお考えください。一人だけではなく、二人やグループでのワークショップも受け付けます。今年は「Asynchronous (非同期)」のワークショップをやってみるつもりで、事前に短い発表を録画できます。初めて発表する先生方はこのAsynchronousのワークショップはどうでしょうか。

2022年は新しい委員会メンバーが入って、新しいアイデアや考え方が出てきています。最近のAGSAのワークショップがいい例ですね。だから、先生方もアイデアやいいトピックを考えたら、ぜひ、委員会メンバーに連絡してください。JLTASAは教師会ですから、教師のアイデアやフィードバックは大切だと考えています。

色々なJLTASAの資料やサポートがあるのもお忘れなく。例えば、補助金制度（学生のイベントへの移動費、研修費、日本的な学校内のプロジェクト、ハブグループのプロジェクトなど）がありますので、是非、活用してください。

良い2022年を楽しみましょう。

トム・ドーソン